

2021年8月のレコードコンサート

☆…今月のテーマ【ラテン・ジャズ】

♣…ジャズビギナーにオススメ

	日	曜日	管理番号	ジャケット名	アーティスト	ひとこと
☆	1	日	00681	ラテン・マン	ハービー・マン	レイ・チャールズの「ホウッド・アイ・セイ」、ホレス・シルバーの「セニョール・ブルース」を極上のラテン・ジャズに。
☆	2	月	08176	キューバ・リブレ	イラケレ	キューバのバンド。洗練さと熱気、陽気さとエナジー、全てが詰まった、イラケレ・サウンドが満載。
	3	火	01421	ココズ・ブルース	和田 直	「日本一のブルース・ギター弾き」。泥臭さと洗練さがいまい具合にブレンドされた彼のデビュー作。
	4	水	—	休館日		
	5	木	07524	ダイナ・ジャムズ	ダイナ・ワシントン	クラーク・テリーやクリフォード・ブラウン、マックス・ローチなどオールスターなメンバーが参加した熱き名作。
☆	6	金	08174	レッド・ホット	モンゴ・サンタマリア	パーカッションの彼が、ハービー・ハンコックのヒット曲「ウォーターメロン・マン」を取り上げた作品。
☆	7	土	04018	ジャンボ・カリバ	ディジー・ガレスピー	ディジーがカリブ音楽に挑戦したアルバム。
♣	8	日	03089	ホレス・スコープ	ホレス・シルバー	永遠不滅の名曲「ニカの夢」を含む、ホレス・シルバー・クインテット絶頂期の魅力溢れる傑作。
☆	9	月	01054	チリ・コン・ソウル	ザ・ジャズ・クルセイダース	ラテン・ソウル〜ブーガル〜アフロ・ジャズといったテイストを堪能できるサウンド。
	10	火	04333	ザ・ブラック・セイント・アンド・ザ・シナー・レディー	チャールズ・ミンガス	アコースティック・ギターを導入した小オーケストラ編成で壮大な世界を展開。
	11	水	—	休館日		
☆	12	木	04427	ナイン・フラッグス	チコ・オフアリル	NYのラテン音楽の重鎮。60年代に一流ジャズメンを集めたオーケストラ作品。
☆	13	金	100396 (CD)	スパーク	日野 皓正	夏にピッタリのサウンド。ラテン・フレーバーをたっぷり加えたこの作品は、痛快かつダンサブルな演奏。
	14	土	07595	ウィムス・オブ・チェンバース	ポール・チェンバース	初リーダー作。マイルス・デイヴィス・バンドの同僚だったジョン・コルトレーンも快演。
☆	15	日	04028	ソウル・エスパニョール	オスカー・ピーターソン	《記念日》1925年8月15日生
	16	月	HR3855	ニーナ・シモン・シングス・ザ・ブルース		黒人女性としての誇りと尊厳を歌いあげた伝説のシンガー。公民権運動へのメッセージ「バックラッシュ・ブルース」は必聴。
☆	17	火	09838	ヘル・オブ・アン・アクト・トゥ・フォロー	ウィリー・ポボ	ラテン・パーカッションの鬼、ウィリー・ポボがジャズ・ファンクに開眼した70年代の人気傑作。
	18	水	—	休館日		
	19	木	01443	イエロー・カーカス・イン・ザ・ブルー	笠井 紀美子	日本を代表するヴォーカリスト。スリー・ブラインド・マイルス・レーベルに残した唯一のリーダー作。
☆	20	金	05071	ザ・ラテン・ビット	グラント・グリーン	バックには一流パーカッション。ラテン・ナンバーに挑んだ最高にファンキーな作品。
☆	21	土	07793	ページ・ワン	ジョー・ヘンダーソン	初リーダー作。名曲「ブルー・ボッサ」、「リコーダ・ミー」を筆頭に、充実のプレイが繰り広げられる。
	22	日	06846	ハウ・アバウト・ディス	タモリ	《記念日》1945年8月22日生
☆	23	月	04824	マンテカ!	クレア・フィッシャー	西海岸の才人。ディジー・ガレスピーの名曲「マンテカ」を演奏した傑作。
	24	火	02074	ピープル・イン・ミー	アビー・リンカーン	マイルスのサイドメンが参加した日本制作の1枚。アビーの意欲が感じられるアルバム。
	25	水	—	休館日		
☆	26	木	07596	アフロ・キューバン	ケニー・ドーハム	ラテン音楽とジャズが融合したアフロ・キューバン・ジャズを代表する名作。
☆	27	金	04600	エル・ソニード・ヌエボ	カル・ジェイダー エディ・パルミエリ	カル・ジェイダーとエディ・パルミエリとの共演盤。ジャズ&ラテンの奇才が手を結んだアルバム。
☆	28	土	04388	ラテン・シャドウズ	シャーリー・スコット	オーケストラとコンボをバックに、センスの良いオルガンでソウルフルなサウンドを名演。
				19:00~ ブルー・ウェーブ・ジャズ・フォーラム・レコードコンサート 行方均氏執筆解説で内田修ジャズコレクションを聴く チャーリー・パーカー『ナウ・ザ・タイム』		
♣	29	日	HR4438	アイ・ラヴ・ブラジル!	サラ・ヴォーン	ブラジルを代表するスーパースターたちと、リオで吹き込んだ会心のセッション。
☆	30	月	01991	フィエスタ・フィエスタ	松岡 直也&ウィシング	日本を代表するラテン・フュージョンの第一人者。スーパーメンバーが集まった初期の作品。
	31	火	HC2565 (CD)	カム・オン・ホーム	ヴァレリー・ケイパース	盲目の黒人ピアニスト。切れ味が良く真摯なタッチでホレス・シルバーの「カム・オン・ホーム」をカバー。